

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第 二 条 第 1 項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	■該当 □非該当	箇条 4	箇条 4 一般要求事項（JIS C 9335-1（以下、第 1 部）の規定による。） 機器は、通常使用時に起こりやすい不注意があっても、人体及び／又は周囲に危害をもたらさないように安全に機能する構造でなければならない。	
第 二 条 第 2 項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	■該当 □非該当	箇条 22 22.104 22.105 22.106 箇条 25 25.1	第 1 部の第二条第 2 項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.104 質量が 3 kg を超える水中ポンプ及び立軸形槽内ポンプは、持ち上げるための手段を用いてポンプを据え付けることができなければならない。 22.105 合成樹脂の外郭をもつクラス 0I 及びクラス I 水中ポンプは、モータ内に液体が漏れても危険が生じない構造でなければならない。 22.106 シャワー加圧ポンプは、永久に給水口に接続できるように組み立てられなければならない。壁取付形シャワー加圧ポンプは、給水口への接続とは独立して確実に固定できなければならない。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.1 水中ポンプには、差込プラグ付きの電源コードを備えてはならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第2項 続き				25.3 25.5 25.8	25.3 水中ポンプには、可とうコードを備えてはならない。 25.5 水中ポンプには、X 形取付けを許容しない。 25.8 ポンプの電源コードは、ポンプに表示している最大動作深度より 3m 以上長くなければならない。	
第三条 第1項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 19.101 19.102	第1部の第三条第1項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 19 異常運転 19.101 水なしで長時間運転しても、火災の危険、及び安全性又は感電に対する保護に影響を及ぼす機械的損傷を、できるだけ未然に防止できる構造でなければならない。 19.102 最長運転時間を表示するポンプは、定格電圧を印加し、定常状態を確立するまで、通常動作の下で運転しても、火災の危険、及び安全性又は感電に対する保護に影響を及ぼす機械的損傷を、できるだけ未然に防止できる構造でなければならない。	
第三条 第2項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前項の規定による措置のみによってはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるも	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7 7.1	第1部の第三条第2項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 7 表示、及び取扱説明又は据付説明 7.1 ポンプは、最大液体温度を表示しなければならない。 定格入力 が 50W を超える水中ポンプは、最大動作深度を表示しなければならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第三条 第2項 続き		のとする。		7.12	7.12 水泳プールの清掃用、及びその他の保守用のクラス 0I 及びクラス I 可搬形ポンプの取扱説明書には、次の趣旨を含めなければならない。 <ul style="list-style-type: none"> － 人が水に入っている場合、ポンプを用いてはならない。 － 定格感度電流が、30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を介して、ポンプに電圧を印加しなければならない。 水泳プールに用いる水槽ポンプの取扱説明書には、“フィルタを清掃するなど、使用者によって保守を行う前には、ポンプを主電源から切り離す。”旨を含めなければならない。	
				7.12.1	7.12.1 据付説明書には、次の趣旨を記載しなければならない。 <ul style="list-style-type: none"> － 潤滑剤を含む水中ポンプ及び立軸形槽内ポンプは、潤滑剤の漏れによって液体の汚染が生じかねない。 － 保護装置を組み込んでいない三相モータをもつ据置形ポンプは、固定配線に保護装置を取り付けなければならない。 屋外の泉、泉水で用いるように意図したポンプの据付説明書には、定格感度電流が 30 mA 以下の漏えい遮断器 (RCD) を介してポンプに電圧を印加しなければならない	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第三条 第2項 続き					旨を記載しなければならない。 泉水の近くに固定するクラス II ポンプの据付説明書には、いつ（溢）水が生じ得ない場所に、ポンプを配置しなければならない旨を記載しなければならない。	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	22.16 23.3 25.14 箇条 31	22.16 自動式巻取り機構は、耐久試験の結果、異常を生じてはならない。（第1部の規定による。） 23.3 内部配線は、折曲げ試験の結果、異常を生じてはならない。（第1部の規定による。） 25.14 シースなしの平形電源コードは、折曲げ試験の結果、異常を生じてはならない。（第1部の規定による。） 箇条 31 耐腐食性（第1部の規定による。） 腐食によって機器がこの規格に適合しなくなるおそれがある鉄製の部分は、防腐食対策を十分に施さなければならない。	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 6 6.1	第1部の第五条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 6 分類 6.1 水泳プールに人が入っている場合のプール内で用いるための水中ポンプは、定格電圧が 12V 以下のクラス III とする。水又はその他の導電液体中で用いるためのその他の水中ポンプは、クラス 0I、クラス I とする。水泳プールの清掃用、及びその他の保守用の可搬形ポンプは、クラス	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第五条 続き				6.2 箇条 22 22.106A	0I、クラス I とする。その他のポンプは、クラス 0I、クラス I、クラス II とする。 6.2 水中ポンプは、IPX8 とする。水泳プールの清掃用、及びその他の保守用の可搬形ポンプは、IPX7 以上とする。バス又はシャワーのある場所の区域 1 及び区域 2 以外に設置することを意図したシャワー加圧ポンプは、IPX2 以上とする。その他のポンプは、IPX4 以上とする。 箇条 22 構造 22.106A クラス 0I 及びクラス I の池水循環用ポンプは、高速形の漏電遮断器をもっていなければならない。	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.102 箇条 24 24.1.3 24.1.4	第 1 部の第六条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.102 危険が生じる可能性がある場合、ポンプの材料は、ポンプが意図している液体による影響を受けてはならない。 箇条 24 部品 24.1.3 箇条 11（温度上昇）の試験で動作する水位検知器は、動作サイクルを 50 000 回以上に設定し、JIS C 4526-1 の耐久性試験に耐えなければならない。 24.1.4 箇条 11（温度上昇）の試験で動作する自動調節器は、動作サイクルを 50 000 回以上に設定し、JIS C 4526-1	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第六条 続き				箇条 25 25.7	の耐久性試験に耐えなければならない。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.7 屋外用を意図したポンプ及び水泳プールで用いるように意図したポンプの電源コードは、次のタイプの一つでなければならない。 ー ポリクロロレン又は同等の合成エラストマシース付きコード ー ヘビークロロレンシース付きコード（コード分類 60245 IEC 66）と同等以上の特性をもつもの ー 関連法規に適合したコード。ただし、キャブタイヤコード又はキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm ² 以上とする。	
第七条 第 1 号	感電に対する保護	電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。 ー 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 8 箇条 22 25.22 箇条 26	箇条 8 充電部への接近に対する保護（第 1 部の規定による。） 箇条 22 構造（第 1 部の規定による。） 充電部が、可触金属部に接触するおそれがない構造でなければならない。 25.22 機器用インレットは、コネクタの挿入及び取外しの間、充電部に触れないような構造でなければならない。（第 1 部の規定による。） 箇条 26 外部導体用端子（第 1 部の規定による。）	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					端子は、外郭のカバー又は一部を取り外さないと触れることができないものでなければならない。	
第七条 第2号	感電に対する保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.106A	第1部の第七条第2号に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.106A クラス 0I 及びクラス I の池水循環用ポンプは、高速形の漏電遮断器をもち、定格感度電流が 15 mA 以下でなければならない。	
第八条	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 22 22.6 22.101	第1部の第八条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.6 ポンプに定格電圧を印加し、可能な最大水頭で 10 分間運転後、耐電圧試験に耐えなければならない。 22.101 通常の使用で生じる静圧によって、ポンプの沿面距離及び空間距離は箇条29 に規定する値未満に減少してはならない。	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 11 箇条 19	箇条 11 温度上昇（第1部の規定による。） 木材一般、油に接触する部分の上限値は、表3に規定する値を超えてはならない。 箇条 19 異常運転（第1部の規定による。） 異常運転試験において、炎、危険な量の可燃性のガスが機器から漏れてはならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第九条 続き				30.2	30.2 非金属製の部分は、十分な耐着火性及び耐延焼性をもっていなければならない。(第 1 部の規定による。)	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 11	箇条 11 温度上昇 (第 1 部の規定による。) 通常使用時に継続して手で保持する部分の上限値は、表 3 に規定する値を超えてはならない。	
第十一 条第 1 項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自身が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	20.1 20.2 22.14 22.15 23.1	20.1 固定形でなく、かつ、手持形でもない機器で、床上又は卓上で用いる機器は、十分な安定性をもっていなければならない。(第 1 部の規定による。) 20.2 機器の運動部は、通常使用時に人体を傷害から適切に保護するように配置されているか、又は外郭で囲ってなければならない。(第 1 部の規定による。) 22.14 機器には、通常使用時又は使用者による保守の際に危険を及ぼすおそれがある凹凸のある角又は鋭い角があってはならない。(第 1 部の規定による。) 22.15 可とうコード用の巻付けフックその他これに類するものは滑らかでなければならない。(第 1 部の規定による。) 23.1 配線路は、滑らかでなければならない。(第 1 部の規定による。)	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十一 条第1項 続き				25.9	25.9 電源コードは、機器のとがった部分又はとがった角に接触してはならない。(第1部の規定による。)	
第十一 条第2項	機械的危険源による危害の防止	2 電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。	■該当 □非該当	箇条 21 21.1 箇条 22 22.101	第1部の第十一条第2項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 21 機械的強度 21.1 シャワー加圧ポンプ以外のポンプは、堅固に支え、外郭の弱そうな箇所全てに 3 回ずつ 1.0 J の衝撃力を加える。 箇条 22 構造 22.101 ポンプは、通常の使用で生じる静圧に耐えなければならない。	
第十二 条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■該当 □非該当	箇条 22 22.103	第1部の第十二条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 22 構造 22.103 水中ポンプ及び立軸形槽内ポンプは、潤滑剤による液体の汚染をできるだけ防止する構造でなければならない。	
第十三 条	電気用品から発せられる電磁波による危害の防止	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。	■該当 □非該当	箇条 32	箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性(第1部の規定による。)	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十四条	使用方法を考慮した安全設計	電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	19.7	19.7 人がついていない状態で運転する機器は、拘束試験において、巻線の温度が表 8 に規定する値を超えてはならない。(第 1 部の規定による。)	
				19.9	19.9 遠隔制御若しくは自動制御によって運転するモータをもつ機器、又は連続運転を行う可能性がある機器には、過負荷運転試験において、巻線の温度が規定の値を超えてはならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.40	22.40 遠隔操作作用の機器には、機器の動作を停止させるためのスイッチを取り付けなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.49	22.49 遠隔操作の場合、運転持続時間を設定しない限り、機器が始動できないようにしなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.50	22.50 機器内に組み込んだ制御装置がある場合、それが遠隔操作によって操作される制御装置よりも優先されなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				22.51	22.51 機器上には、機器が遠隔操作作用に調節されていることを示す視覚的表示がなければならない。(第 1 部の規定による。)	
				30.2.3	30.2.3 遠隔操作の機器及び人の注意が行き届かない状態で動作する機器については、非金属材料に燃焼試験を行わ	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					なければならない。(第 1 部の規定による。)	
第十五条第 1 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	不意な始動により、水等を吸込又は吐出することによる危害は一般的に想定しがたく、非該当が妥当と考える。
第十五条第 2 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 20.2 22.10	箇条 19 異常運転 (第 1 部の規定による。) 異常運転試験において、機器は、危険な誤動作を起こしてはならない。 20.2 自己復帰形温度過昇防止装置及び過負荷保護装置が何かの拍子に閉状態になった場合に、それが危険を引き起こす引き金となってはならない。(第 1 部の規定による。) 22.10 機器に内蔵する自動開閉装置の動作によって、電圧維持下の非自己復帰形温度過昇防止装置が復帰してはならない。(第 1 部の規定による。)	
第十五条第 3 項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	不意な停止によって、一般的に、人体に危害を及

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十五条第3項 続き						ぼし又は物件に損傷を与えるおそれがないため、非該当が妥当と考える。
第十六条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定するとともに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 10 箇条 19 25.8	箇条 10 入力及び電流（第 1 部の規定による。） 機器に定格入力（定格電流）が表示されている場合、通常動作温度における入力（電流）は、許容値を超える差があってはならない。 箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 故障状態の下での機器の安全性をヒューズによって確保する場合は、適切なものを選ばなければならない。 25.8 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第一に適合したコード以外の電源コードの導体は、表 11 に規定する値以上の公称断面積をもつものでなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第十七条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 電子的スイッチを持つ機器には、イミュニティ試験を実施する。	
第十八条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当		—	J55014-1 等の別規格で規定され

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
		音を発生するおそれがないものとする。				ている。
第十九条	表示等（一般）	電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	7.14	7.14 表示は、容易に判読でき、かつ、耐久性があるものでなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第二十条第 1 項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。 一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のものに限る、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる換気扇を除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三 第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。）	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定されているため、整合規格は不要。

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十条第1項 続き		(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十条第2項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>二 電気冷房機（産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上
第二十条第3項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-41：2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-41 部：ポンプの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十条第3項 続き		すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十条第4項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>四 テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上